

## 2023年度 北陸 ESD 推進コンソーシアムの活動予定

北陸 ESD 推進コンソーシアムは、今年度も教育現場における ESD・SDGs の学習を応援します。持続可能な社会を創る担い手を育成する学校教育、社会教育、企業内教育等で実践される授業や研修会などの教育活動を支援するとともに、教育実践を交流したり学び合う機会を設けたり、研修講師やゲストティーチャーとして専門家の派遣や紹介などの活動を行います。

### 1. 主幹団体

金沢大学

### 2. 事務局

場所：金沢大学人間社会 3 号館 1313 室

電話番号：076-264-5605

住所：金沢市角間町 金沢大学人間社会 3 号館 1313 室

メールアドレス：hokuriku.esd@gmail.com

HP の URL：https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/（活動案内、e ラーニング教材、成果報告、関係団体とのリンク）

YouTube のチャンネル名：「北陸 ESD」（e ラーニング教材を公開中）

facebook のグループ名：「北陸 ESD 推進コンソーシアム（公開）」（情報提供と交流）

### 3. 今年度の運営（諸会議、交流会、報告会等）

コロナ禍の終息化により対面で行う会合を再開します。北陸内外の教育実践や実践者から学び合ひましょう。

- (1) **北陸 SDGs・ESD 推進連絡協議会** 年 3 回（石川県ユネスコ協会と共催）  
北陸のステークホルダーの交流、意見交換、北陸 ESD 推進コンソーシアムの活動報告等を行います。
- (2) **SDGs 達成に向けた ESD の e ラーニング教材制作協力者交流会** 8 月 25 日（金）（教員等）17:00~18:30  
ESD・SDGs の教育実践及び e ラーニング教材化に関する情報交流の会です。
- (3) **SDGs 達成に向けた ESD に関するオンライン講義の開催**（オンライン：オンデマンドとライブのハイブリッド）  
（2023 年 8 月から 2024 年 1 月の期間において複数コース開講し、それぞれ 3 回から 5 回開催を予定。）  
北陸内外の研究者、実践者が SDGs 達成に向けた ESD に関連するテーマを受講者と一緒に探究します。
- (4) **北陸 ESD・SDGs 教育実践交流会** 12 月 2 日（土）（教員等）14:00~16:30（対面とオンライン）  
北陸の内外からの教育実践の報告と意見交換、及び ESD・SDGs の最新情報の共有を行います。
- (5) **石川県 SDGs・ESD 児童生徒学習活動学習活動交流会** 1 月 20 日（土）14:00~15:30（オンライン）  
石川県内の学習活動の状況を児童生徒同士が交流し学び合ひます。
- (6) **2023 年度北陸 ESD 推進コンソーシアム成果報告会** 2 月 10 日（土）14:00~16:30（対面とオンライン）  
北陸 ESD 推進コンソーシアムの会員の活動報告及び事業報告、外部評価、意見交換を行います。
- (7) **富山県、福井県 ESD 交流会 2 月開催予定**  
教育実践に関する教員及び児童生徒の報告を行います。

### 4. 今年度受託している補助金の事業概要

- (1) **文部科学省令和 5 年度ユネスコ活動費補助金（金沢大学）—SDGs 達成の担い手育成（ESD）推進事業—**

#### 1. 補助事業名称

SDGs 達成に向けた **e ラーニング教材開発及びコミュニティづくり**による教員等の**専門能力開発**

#### 2. 事業の目的・概要

3 年間で、SDGs 達成に向け ESD を実践しようとする教育委員会や学校の教員等を対象とした e ラーニング教材（実践編・教育経営編）の開発・活用を進め、そのプロセスにおける研修機会の創出と**主体的な研修システムを構築し、開発した教材や研修システムの全国的な展開を図る**。また、**e ラーニング教材制作者を中核に教員や学生・院生、研究者等が学び合うコミュニティを教員等の主導で形成する**。また、1 年ごとに「平和と非暴力の文化」や「気候変動」などを喫緊の共通課題として設定する取り組みも進める。これらの事業によって、ホールスクール・アプローチに向けたカリキュラム・マネジメント力や教育経営力など教員等の専門能力開発と、SDGs 達成に向けた ESD の授業実践により「開かれた教育課程」「探究的な学習」の実現に貢献する。また、成果を全国に発信し、SDGs の達成に向けた人材育成の優良事例として本事業の周知を図る。

## (2) 令和5年度の4つの事業

### 【教材：SDGs達成に向けたeラーニング教材開発事業】(eラーニング教材制作協力者を募集しています！)

令和5年度には、ホールスクール・アプローチを進める上で必要な、教員や教職を目指す学生向けのカリキュラム・マネジメント力と、教育委員会、校長など管理職層向けの教育経営力を身に付ける下記の5つのカテゴリーに、昨年度(令和4年度)の成果に基づき幼児教育におけるeラーニング教材制作のカテゴリーを増やし、6つのカテゴリーで制作を進めます。制作するeラーニング教材においては、世界とのつながりに気づき理解したり、地球規模で考えたりすることを重視するとともに、授業を通して児童・生徒及の変容や授業の変革に注目して取り組むことを推進したい。また、「ESD for 2030 (SDGs)」の授業は総合的な学習時間での授業を支える教科においても行われることが基本であることから、教科における授業実践をeラーニング教材化することが急務だと考えます。加えて、教材制作プロセスにおける主体的な研修機会を創出するとともに、制作された教材の活用を一層進めます。加えて、教材制作プロセスにおける主体的な研修機会を創出するとともに、制作された教材の活用を一層進めます。

- ・教材① SDGs・ESDを推進するホールスクール・アプローチに向けたカリキュラム・マネジメント力、教育(学校)経営力の育成
  - ①-1 地域のSDの課題解決を地域住民や専門家と連携して取り組む授業実践
  - ①-2 SDGs達成に向けたESDとしての教科における探究的な授業実践
  - ①-3 地球規模の課題の解決や世界とのつながりを理解する授業実践 (国内外との学校交流を含む)
  - ①-4 ユネスコスクールの共通課題に関する授業実践 (平和と非暴力の文化、気候変動(優先度が高い)、持続可能なライフスタイル、生物文化多様性及び文化遺産などから選定)
- ・教材② SDGs達成に向けたESDによる探究的で対話的な授業の変革を目指す授業実践(例：SDGsによる「本質的な問い」や「セントラル・アイディア」など)
- ・教材③ 学校と社会教育施設や企業、専門機関等と連携したSDGs・ESDに関わるプログラム開発によるカリキュラム・マネジメント力、教育経営力の育成
- ・教材④ ホールスクール・アプローチを実現するための教育経営力の育成
- ・教材⑤ 教員を目指す学生や大学院生が、学校現場で進むSDGs達成に向かうESDの教育実践や実践者に学び、その過程をeラーニング教材化することで、SDGs達成に向かうESDの意義や価値を深く理解する取り組み。
  - ⑤-1 SDGs達成に向かうESDの授業を実践する気鋭の授業実践者に学ぶ
  - ⑤-2 先進的にホールスクール・アプローチを進める学校に学ぶ
  - ⑤-3 SDGs未来都市の教育委員会が進める教育施策等に学ぶ
  - ⑤-4 「ESD for 2030 (SDGs)」の授業を学生が自ら実践することで学ぶ
- ・教材⑥ 幼稚園・保育園(幼児教育)におけるESDの教育実践(新規)

### 【ESDコミュニティ創生及び教員養成支援事業】

#### ○ESDコミュニティ創生支援事業

令和5年度は、管理職を含む教員等の主体的な専門性を開発支援する、次の3つのコミュニティ創生を進めます。

#### ①-1 eラーニング教材制作協力者を中核としたSDGs達成に向けたESDの授業実践を学び合う授業者や研究者、学生等の開かれたコミュニティの創生

eラーニング教材制作協力者交流会やオンライン講座(試行)を中核に、教員、学生、研究者が主体的に学び合い、情報交換するコミュニティづくりを進めます。一方でコミュニティに対する期待や要望、配慮事項などを集約し、安全安心に参加できるSNSも活用した仕組みについて、専門業者の技術的サポートも受けて創ります。

#### ①-2 SDGs達成に向けたESDを学び合うコミュニティの軸としてのオンライン講座の試行(2年目)

(8月からオンライン講座が始まります。たくさんの先生方や研究者、学生の参加をお待ちしています。)

また、オンデマンド型のeラーニング・コースとは別に、ライブで参加者がESD実践や研究成果等の講義を受けディスカッションするライブのオンライン講座を今年度も開講し、オンラインで学ぶ機会も組み込みます。ライブのオンライン講座の講義については、講義終了後オンデマンド型のeラーニング教材に移行します。この様に、コミュニティ内での学習会における実践報告や講義内容をeラーニング教材化し、コミュニティメンバーが利用できるようにすることを目指して準備、試行します。年度後半には、更に試行を重ね問題点を明確にし、令和6年度の正式発足に向け、複数のコース設定とシラバスの準備、講師依頼、運用システム構築、受講証明の発行などを準備します。

#### ①-3 eラーニング教材とオンライン講座の取り組みを全国のコンソーシアムで共有・共用する体制を準備(新規)

そして、このeラーニング教材制作とオンライン講座の取り組みについて、全国のコンソーシアムと共有・共用できるよう、担当者会合を複数回実施し、枠組みづくりの準備をしていきたいと考えている。

#### ②北陸3県における児童生徒がESD学習に関しての交流や成果等を報告する児童生徒のコミュニティの創生

北陸の各県で行われている児童生徒の発表会、交流会について、より対話型で開かれた形に移行します。北陸以外の国内外の児童生徒の参加や、地域、保護者にも開かれた環境をつくりたいと考えています。また、その児童生徒の発表会、交流会に至る過程で、GIGAスクールの進展により可能になってきた、学習情報の共有・交流ができるようなコミュニティを創生します。

### ③北陸のSDGs未来都市12都市における人材育成について学び合い交流・連携するコミュニティの創生

北陸には12のSDGs未来都市が認定されており、これら12の未来都市が集まるフォーラムも開催されています。この間の議論でも人材育成の重要性は強調されてきていることから、未来都市の教育委員会や学校、教員などの取り組みが共有・交流され連携するようなコミュニティの創生にも努力します。

(富山県、富山市、南砺市、**氷見市**、輪島市、珠洲市、**七尾市**、金沢市、**野々市市**、白山市、能美市、小松市、加賀市、福井県、鯖江市、**大野市**) (赤字は2023年度選定)

#### 【教員養成支援事業】

- ・eラーニング教材制作やオンライン講座を進める中で研修機会を創出したり、学び合うコミュニティを創出したりするとともに、現職の教員と教職を目指す学生とが学び合えるよう工夫します。
- ・「ESD for 2030」が質の高い教育の要であり、魅力的で可能性があることを教材制作やオンライン講座で伝えます。
- ・オンライン講座や開催している報告会、交流会などについて、教育委員会や教員養成課程を有する大学とも連携協力して、現職教員や学生が「ESD for 2030」を学ぶ研修先として認められるよう働きかけます。
- ・これまでに作成された「SDGs・ESD実践ガイドブック」やeラーニング教材（基礎編）、eラーニング教材（実践編）を活用した教員研修が北陸3県にとどまらず行えるよう情報を周知します。
- ・教育委員会、地域のユネスコ協会、JICAや国連大学などの国際機関、企業、NPO等と連携した、地球規模で考えるSDGs・ESD研修会、交流会等を開催します。
- ・金沢大学等における学生を対象とするESD授業において、SDGsの達成という視点に立ったカリキュラムの充実を図ります。また、教員養成課程、教職大学院においてもSDGsを念頭に置いたESD授業の可能性を探ります。
- ・ユネスコスクールなどの研修会や公開授業への講師派遣等を通してSDGs・ESD推進に向けた指導・助言を行います。

#### (4) HP、フェイスブック、教材・講座の管理と運用

eラーニング教材の整理・ESDIに関するオンライン講義の案内等の充実

#### (5) SDGs達成に向けたESDを実践あるいは実践しようとする教員、学校等への支援

- ①SDGs・ESDの専門家（大学教員や実戦者等）を支援コーディネーターとして学校や研修会等へ派遣する。
- ②北陸におけるSDGs達成に向けたESDの教育実践や研修等に関する要望に対応して、コーディネーターを派遣したり教材提供したりするなどの支援を行う。

#### 【周知普及事業】

北陸内での実践共有と拡大を進め、特にSDGs未来都市12都市と連携を強化し、それぞれの人材育成のニーズに対応した支援を行うとともに、各都市の優れた教育実践をeラーニング教材化、共有化できるよう進めます。

更に、本事業の報告会や中部地方ESD活動センターによる学び合いフォーラム、日本ESD学会やHESDの研究発表会、ユネスコスクール全国大会等を通じて、ESD・SDGs推進に向けた人材育成の優良事例として本事業の周知を図ります。また、本事業の実施に当たっては、関係大学、国連大学サステナビリティ高等研究所石川金沢オペレーティング・ユニット、JICA、ACCU等の専門機関、ESD関連団体、教育委員会、学校、地域のユネスコ協会や民間企業等との連携を図るとともに、中部地方ESD活動支援センターとの緊密な連絡調整の下で行います。

ホームページやリンクさせているフェイスブック、YouTubeチャンネル「北陸ESD」などで、eラーニング教材や北陸の情報を発信するとともに、前出の関係団体等とのリンクを図り北陸から情報の共有を進めます。

未来都市12都市、大学、国連大学OUIK、JICA、学校、教育委員会、社会教育施設、企業、団体などと連携し、上記事業内容を協働して行うとともに実践を共有します

## 5. その他

- (1) 全国のESDコンソーシアム、ESD地域拠点及び北陸未来都市等との連携を進めます。
- (2) 北陸3県及び岐阜県のユネスコスクール加盟申請校を支援します。

今年度も会員ならびに関係各所へのアンケート調査を予定しています。ご協力いただきますようお願いいたします。グーグルフォームでの回答にご協力いただきますようお願いいたします。